

藤樹人間学塾： 藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に思想を学ぶとともに自らの頭で考え、時事問題と組み合わせ、日々の生活の場で実践することを目的に毎月開催しています。本稿ではその模様をお伝えいたします。

■五月、安曇川公民館で第百四十九回人間学塾を開きました。京都からの参加者を入れて七名でした。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』（中公バックス日本の名著）

●今日のポイント

・蕃山と藤樹学・・・①蕃山は藤樹と出会って学問に開眼し、藤樹の死後その子らの面倒を見た。②蕃山の学問・思想は藤樹学によって啓発されるところが多かった。③蕃山は「大道の実義」を究めて藤樹の志を継承する信念があった。④蕃山は心学を基として、経世済民の事業を目指した。（以下、略）

◇フリートークング

「藤樹と蕃山の考えに違いがあることが分かった」↓思想は環境立ち位置によって変わってくる。蕃山は経済的に困窮した環境で

育ったので、政治・経済を重視したのだと思う。

■六月、安曇川公民館で第百五十回人間学塾を開きました。大津、栗東（初参加）からの参加者を入れて七名でした。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』

●今日のポイント

・蕃山の思想の特徴・・・①文化の融合・・・中国からの外来文化・思想と日本の伝統・国情・風俗の融和を誠実に図った。②時・所・位論・・・政治、教学などの本旨は普遍であるが、その実行には時勢、国情、地位の相違に従って工夫し実情に適合させることが大切である。（以下、略）



◇フリートークング

・時・所・位論は良かった。蕃山は現実的で先駆的な思想を持った人

だと思った」

・蕃山は幕府から危険視され幽閉されたが、幕末に生まれていたら吉田松陰らと同じく勤王の志士になっっていたかもしれない」

■七月、安曇川公民館で第百五十一回人間学塾を開きました。大津、栗東、長浜からの参加者を入れて九名でした。（うち女性初参加者二名）

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』

●今日のポイント

・万物一体・・・天地万物みな太虚（大宇宙）の一気から生じたものである。また人は天地の徳、万物の霊といつて、他と比べて優れたところがあり、人の性にだけ明徳がある。だから人は小体の天、天は大体の人といわれる。（以下略）

◇フリートークング

・「初参加。性善説と性悪説など勉強になった。会社の労務管理のアドバイスの仕事にも役立つ」

■八月、安曇川公民館で第百五十二回人間学塾を開きました。京都、大津からの参加者を入れて九名（うち女性三名）でした。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』

●今日のポイント

・栗山英樹「WBCで優勝して沢山

の人に好評価をもらって感じたのは、ああ、こうやって人はダメになるんだな」という思いでした。横田南嶺「拍手喝采（を受ける）は人を愚かにする道なりを肝に銘じている」。

◇フリートークング

・「お坊さんから「善行をして褒められたらプラスマイナスゼロ」と聞いたことがある。「慎独」が大事だと思った」

等の意見をいただきました。ありがとうございます。

人間学に関心のある方は是非お越しください。無料です！

藤樹人間学塾 今後の予定

十月五日（土）、十一月二日（土）、

十二月七日（土）、一月四日（土）

■時間（原則）十五時～十七時

■場所（原則）安曇川公民館

